

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ふ ら の 第 2 号

発行日 平成22年8月20日(金)

発行者 富良野看護専門学校

○ 実りの秋に向けて・・・志を高く、歩みは小さくも、明るく、誠実に

夏休みが終了、8/17(火)から授業が再開しました。長期休業入り後も、北都保健福祉専門学校と分け合い見事連続優勝を果たした旭川地区看護学校スポーツ交流会の当番校業務の後始末や7/28(水)の北海へそ祭りのへそ踊り参加等、学校の管内的役割の遂行や地域交流、実習のまとめ、自学自習での登校など、学生、教員とも結構多忙な様子でした。それでも学年に応じてしばし解放感に浸っていたようです。

自画自賛ですが、本校学生の授業や对外活動の参加態度は大変誠実で意欲的です。「看護師になる」との強い目的意識と本校の伝統がそうさせていると嬉しく感じます。

着任後4か月、一般、推薦、社会人枠と各々の受験を経て入学した102名の学生は、看護師に必須の心(マインド)と看護実践能力(スキル)を磨く厳しい学習・実習に邁進する日々を実感します。富良野市立の看護専門学校で学び、育ち立派な看護師になる意義を学校長白らが自覚し学生に教えられること多々。さあ勉学に適した季節～実りの秋に相応しく堅実に成果を上げるよう願っています。(学校長 丸 昇)

○ 高齢者との世代間交流に学ぶ・・・ことぶき大学・交流会

7/14(水)、本校に「ことぶき大学生」約30名をお招きし、世代の違う者同士でお互いの理解を深めるために交流会を実施しました。本校の学生は、地域で元気に生活されている高齢者の方と接することで自分たちは“昔より豊かになった・恵まれている”“高齢者の方の頑張りに負けている”などの刺激をもらっているようでした。

また、ことぶき大学生は看護学校生を“孫のようだ。素直でよい子達だ”“地域に根差して支えてくれる看護師になって欲しい”と話されており、その他ざっくばらんに話をしながら楽しく過ごすことができたようでした。

学生は日々の学習や将来に悩むことも多く大変ですが、人生の先輩である高齢者の方々の言葉に勇気をもらえたようです。これから先もっと辛いこともあると思いますが、この交流会で出会った方々を思いだして頑張りたいと思います。今後もこの機会を大切にできるだけ継続していきたいと思っております。(担当教員 能登千種)

・・・「市内施設見学を終えて」・・・(レポートの要旨抜粋を掲載) 1年 高橋 麻希

市内見学を通し富良野市は色々なものを上手に活用して環境に優しい活動をしており、またボランティア数も多く、協力し合う精神が強い住民が多いのだろうと思った。今回見学した所はほんの一部だが、私も市、住民のために何か出来ることはないか探してみたい。

見学させて頂いたことに感謝し学び感じた事、素晴らしい発見を忘れないようにしたい。

・・・ SCHEDULE ・・・ 8/17~9/30の行事等(予定)

- 8/17(火) 始業 富良野西中、同東中学校訪問(学校長・事務課長)
- 8/21(土) 第17回富良野看護専門学校学校祭 テーマ「虹」午後一般公開
- 8/23(月) 振替休業(～25(水)) 3年生研修旅行(東京方面)
- 8/27(金) 施設別実習指導者会議(15:30～富良野協会病院)
- 9/17(金) 施設別実習指導者会議(15:30～市立芦別病院)
- 9/24(金) 「全学特別講演会」講師 富良野国の子寮 施設長 高島正人氏予定

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

「どの年代にも必要・不可欠な体力づくり～でもなぜ長続きしづらい？」

ルー(Wilhelm Roux)の法則「身体機能は適度に使うと発達し、使わなければ萎縮し、過度に使用すれば障害を起こす」はスポーツのトレーニングのみならず健康な身体の維持には運動が欠かせないことを教えています。しかし運動によるトレーニングは中々継続しにくいもの。なぜでしょう？効果を上げるには「ある程度の負荷をかけ、最低週4日以上が原則」となると楽しさよりも辛さを感じます。この「辛いから」が大切なトレーニングを3日坊主にする原因。「鉄は熱いうちに打て」挑戦！です。

+++ あ・ん・て・な ANTENNA +++

「今後5年間で約10万人増～全国看護職員需給見通し」(週刊保健衛生ニュース7/26号)

厚生労働省は、7/16の第7次看護職員需給見通しに関する検討会で、平成23～27年の需給見通し暫定値を示し、27年の需要数は150万人で需給の差は56,300人から27年には15,400人に縮まると見込んでいる。看護師志望者には、「追い風」の状況に違いないが、一方では「看護師養成機関への手厚い補助や若い看護師の置かれる状況を改善する国の効果的な看護師確保の施策」を望む声も強く出ているようだ。

ささやき S&T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

S: 夏休みが終わって学校が始まり、学校祭の準備で忙しいけど、みんなで楽しんで、次の実習に向けて気持ちを切り換え、臨んでいきたいと思います。(「夏休みが終わって」2年)

S: 看護学校に来て3か月がたち、思ったことは看護の勉強は想像以上に難しいことばかりです。技術練習もとても難しいですが頑張ります。(「入学後3ヶ月を経て」1年)

S: 6月末初めて実習に行き学校で学べないことが沢山あり、とても勉強になりました。そして患者さんと直接ふれあってもっと看護師になりたいと思いました。(「同」1年)

T: 「エッ～このアイスめっちゃおいしい!!」と朝から倅せそうに頬張る学生達・・・。その姿がとても微笑ましく、癒されたのも束の間・・・ここで一句・・・「先生!!と振り向く度に トイレどこ?」(「市内施設見学」(1年生) 担当教員 佐々木 政美)